

県民防災情報アクセス促進業務委託仕様書（企画提案競技用）

本仕様書は、青森県（以下「県」という。）が行う県民防災情報アクセス促進業務（以下「本業務」という。）を委託するにあたり、その仕様等に関し必要な事項を定めるものである。

1 背景及び目的

災害発生時、命を守るのはまず「自分」であり、県民一人ひとりが防災の取組を「じぶんごと」として捉え、実践する「自助」が重要である。

青森県防災教育センター（以下「センター」という。）は、子どもから大人まで災害時に自分の身を守るために大事なことを学ぶことができる県内唯一の体験型防災教育施設で、防災VR体験等最新のデジタル関連の設備を導入し、令和8年4月1日にリニューアルオープンしたところである。

その一方で、現状では平日のみの開館となっていること、県内各地で開催される防災イベント等への多頻度でのブース出展が難しいこと、県内消防本部等へ周知等を行っているが、広報や施設運営に関する専門的知見がないことから、センターの認知度向上に向けた情報発信や運営効率化に課題を抱えている。

以上を踏まえ、センターの土日祝日開館を含む効率的な運営と、センター内でのイベント開催や防災イベント等へのブース出展等による防災体験・知識習得の機会の提供により、特に防災への関心を持つ県民における更なる防災意識向上と、主体的に防災に関与する人材を増やすことを目的として本業務を実施するものである。

2 業務の期間

令和8年7月1日（水）から令和9年3月31日（水）までとする。

3 業務場所

青森市大字新城字天田内183番地3

青森県防災教育センター（青森県消防学校内）

4 センターの構成

センターは青森県消防学校内にあり、同施設内にある以下のエリア・設備で構成されている。
なお、各設備の詳細は別添の図面参照のこと。

- (1) ウェルカムゾーン、トイレ
- (2) 視聴覚室・VRゴーグル
- (3) 地震体験コーナー
- (4) 119番通報コーナー
- (5) 消火体験コーナー
- (6) 煙避難体験コーナー
- (7) 救命・救急コーナー
- (8) 防災クイズ

4 本業務の前提

(1) 実施計画書の作成

効率的かつ効果的な運営を図るため、以下に基づき実施計画書を作成し、業務開始前までに県に提出すること。

ア 来館者対応、保安対応、業務員の配置等の業務実施体制を明らかにした、センター全般の運営計画

イ 来館者数増加に向け、センター内で実施するイベント、県内で開催される防災イベント等へのブース出展等に係るスケジュール・展示内容等に係る具体的な計画

ウ センターの認知度向上に向けたメディア、ホームページ・SNS等での情報発信に係る具体的な計画

(2) 業務員及び業務責任者の設置

業務員の業務分担、各業務の実施状況管理、県との連絡調整等を行う責任者を業務員の中から選任すること。

(3) センターの開館日

令和8年12月28日から令和9年1月3日の間を除き、土日祝日も開館させること。また、開館日は、午前9時から午後4時までは開館すること。ただし、保守作業等のため必要と認める場合は、発注者と協議の上、必要最小限の時間に限り利用を停止しても差し支えないこと。

(4) 法令遵守

本業務の実施にあたっては、当然に県の条例、規則等を含む各種法令を遵守すること。

(5) 情報セキュリティポリシーの遵守

県が開示する情報セキュリティポリシーの内容を十分に理解し、本業務に関係する全ての者にその遵守を徹底しなければならないこと。

県は、受注者が情報セキュリティポリシーに基づき適切な管理を行っているか、業務期間中、随時確認を行い、その結果に基づく指摘等を行うことができるものとし、指摘等があった場合、その内容に従わなければならないこと。

(6) 秘密保持等

ア 本事業の実施において、県の個人情報保護制度及びセキュリティポリシーに従うこと。

イ 全ての作業において、本業務に係るデータの取扱いには細心の注意をもって管理すること。
また県が指示する場所以外へデータ等を持ち出す場合は、県の許可を得ること。

ウ 本業務の処理上知り得た情報を第三者に開示又は漏洩しないこと。また、そのために必要な措置を講じること。

エ 県及び受託者は、相互に本契約の履行過程において知り得た相手方の機密を他に漏洩せず、また本契約の目的の範囲を超えて利用しないものとする。

ただし、県が法令等、官公署の要求、その他公益的見地に基づいて、必要最小限の範囲で開示する場合を除く。

5 本業務の内容

(1) センターの運営

ア センターの開館前及び閉館後における、センターの施設及びセンター内の備品、設備等（以下「施設・設備等」という。）の点検及び結果の記録

ただし、受託者の責に帰すべき事情がある場合を除き、施設・設備等の修繕、消耗品の交換

等は県が実施するほか、センター運営に係る水道光熱費は県が負担する。

イ センター開館中における、センターの運用、施設・設備等の管理

なお、土日祝日はセンター内トイレ、玄関、敷地内駐車場の管理も一体で行うものとするが、冬期間の除雪は県が実施する。

また、来館者の消防学校職員室側への立入りを禁止する措置をとること。

ウ 非常時における、来館者の避難誘導等の保安対応

4（1）に定める実施計画書に対応手順等を記載すること。

エ 利用者アンケートの実施及び集計

利用者アンケートについては、少なくとも以下の項目を設けること。

- ・ 来館日
- ・ 居住地（青森市内外の別）
- ・ 団体 or 個人の別
- ・ 何度目の利用か
- ・ 防災教育センターをどのように知ったか
- ・ 各体験の満足度
- ・ 防災意識向上につながったか
- ・ 職員の対応は適切だったか
- ・ センターに関する要望・意見等

オ サービスに関する苦情受付・処理

利用者等からの苦情には誠実に対応するとともに、カに基づき県へ報告すること。

カ 運営状況及び備品・設備等に係る県への報告

（ア）提出書類

提出書類は紙及び電子データとし、Microsoft Office2013 相当以上で読み書きができるファイル形式で作成し、提出するものとする。

（イ）随時の報告

問合せ、緊急時等の対応の内容等を記録し、県に随時書面で報告する。

（ウ）毎月の報告

毎月、当該月の作業内容、成果物、協議その他口頭で確認した事項、翌月の計画等を記載した書面を作成し、速やかに県に報告する。

（エ）会議の開催

県が必要と認めるときは、その指示に従い会議を開催し、必要な事項を県に報告するものとする。

（2）来館予約受付・管理

Web ページ、電話等で予約を受け付けるとともに、予約状況を管理する。

（3）来館者案内

来館者の受付を行うとともに、センター内で来館者への説明・体験指導・解説等を実施する。

（4）センター内でのイベント開催（月 1 回程度）

来館者の再訪を促すため、効果的なイベント内容及びスケジュールをとりまとめること。

（5）広報活動によるセンターの認知度向上

センターの認知度向上による来館者増加に向け、以下を実施する。

ア 民間企業実施の防災フェア等へのブース出展（6 回程度）

出展するイベントを受注者が調整するとともに出展内容を検討し、センターの認知度向上とともに県民の防災意識向上につながる内容の実施計画をとりまとめること。この際、施設・設備等のほか、県が保有する資機材（VRゴーグル、おももリスの着ぐるみ等）を活用することができる。

イ メディア、ホームページ・SNS等での情報発信

(6) 業務の改善提案

センターの管理・運営、イベント等の実施を通じて得られた課題を解決するため、運営状況を分析し、県に対して業務の改善に係る提案を行うこと。

6 スケジュール案

事業実施に係るスケジュールの概要は以下のとおりとする。なお、詳細の日程は、県と受託者が協議の上、決定する。

令和 8 年 5 月 1 4 日	企画提案競技募集開始
令和 8 年 6 月 9 日	企画提案競技審査会
令和 8 年 6 月中旬	委託契約締結（令和 8 年度単年度）
令和 8 年 6 月中旬～	調整・準備
令和 8 年 7 月 1 日～令和 9 年 3 月 3 1 日	センターの運営
令和 9 年 3 月 3 1 日	受託者から県へ実績報告書提出

7 著作権

- (1) 受託者は、本業務の成果品（以下「成果品」という。）が第三者の著作権その他の権利を侵害していないことを保証し、万が一第三者からの権利侵害に関する訴えが生じた場合には、受託者の責において解決するものとする。
- (2) 成果品については、成果品に関する著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条に規定する権利を含む。）及び所有権を含めて、すべて県に帰属するものとする。
- (3) (2) において帰属した権利を保有した成果品（著作物）については、県及び県から正当に権利を取得した第三者が使用する場合において、受託者の承諾なく自由に使用できるものとする。
- (4) 受託者は、県及び県から正当に権利を取得した第三者に対し、著作者人格権（公表権、氏名表示権、同一性保持権）を行使しない。

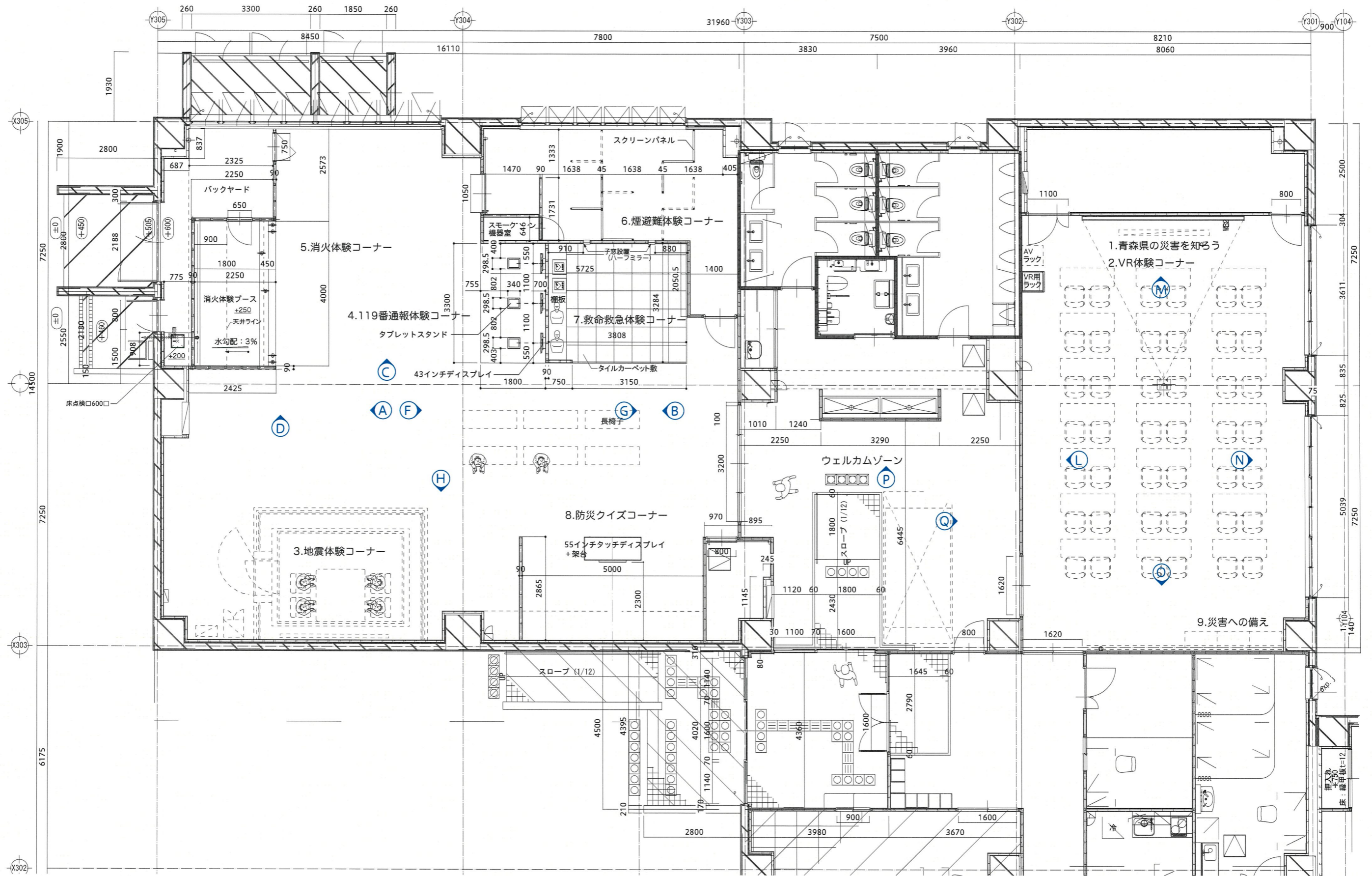
8 その他

- (1) 受託者は、本業務の目的を十分に理解した上で業務を遂行すること。
- (2) 本業務の実施に当たり、県と連絡調整を十分に行い、円滑に業務を実施すること。
- (3) 本業務の実施により知り得た個人情報について、漏えい等の防止その他個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じるとともに、本業務の目的以外で利用し、又は第三者に提供してはならない。
- (4) 本業務の遂行に当たっての再委託については、次のとおりとすること。
 - ア 受託者は、本業務の一部を第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。ただし、県が書面によりあらかじめ承諾したときは、その限りではない。
 - イ 県により再委託が承諾されたときは、受託者は再委託先に対して本業務に係る一切の義務を順守させるものとする。

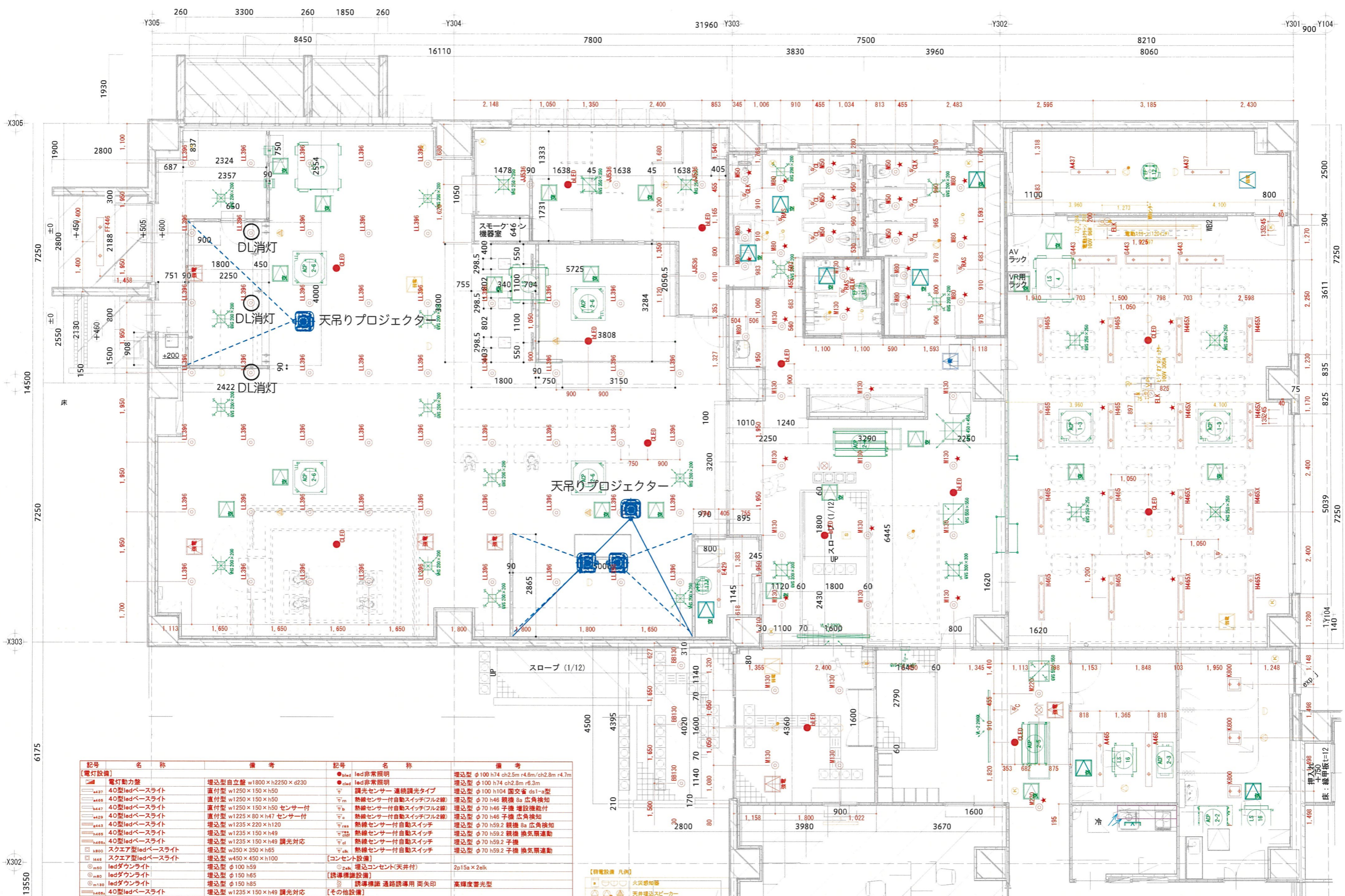
- (5) 受託者は、本業務の実施過程で発生した障害や事故については、大小にかかわらず県に報告し指示を受けるとともに、早急に対応を行うものとする。
- (6) 本仕様書に定めのない事項又は業務上疑義が生じたとき並びに本仕様書により難い事由が生じたときは、両者協議により決定すること。
- (7) 委託料については、業務に係る全ての経費を含むものとする。

番号	ゾーン名・コーナー名	展示番号	タイトル	仕様	数量	サイズ	備考
0 ウェルカムゾーン							
	1 エントランス	S01	ウェルカムサイン	アルミ複合板下地I出力貼り	1点	W3000×H1500	
1 視聴覚室 (1)							
	1 青森県の災害を知ろう・VR体験・防災の心得	S02	コーナーサイン (1) 青森県の災害を知ろう・視聴覚室・VR体験	アルミ複合板下地I出力貼り	1点	W900×H1800	
	2 青森県の災害を知ろう	V01	ガイダンス映像	既存PJ投影	1点		
		H01	ガイダンス映像	既存機器	-		
	3 VR体験	V02	青森の災害VR	VRコンテンツ	1式		
		H02	青森の災害VR	VRゴーグル (+収納ラック)	20台		専用キャビネット
2 体験ゾーン							
	1 地震体験	S03	コーナーサイン (2) 地震体験	アルミ複合板下地I出力貼り	1点	W900×H1800	
	2 地震体験装置	H03	地震体験	既存機器	-		
		GP01	地震発生時の注意	アルミ複合板下地I出力貼り	1点	W900×H2400	
		GP02	その震度、どんな揺れ?	アルミ複合板下地I出力貼り	1点	W1100×H2400	
		GP03	過去の地震災害	アルミ複合板下地I出力貼り	1点	W1200×H2400	
		GP04	青森県内の津波高予測・津波の速さ	アルミ複合板下地I出力貼り	1点	W2300×H2400	
	3 119番通報	S04	コーナーサイン (3) 119番通報	アルミ複合板下地I出力貼り	1点	W750×H1800	
		V03	119番通報	体験コンテンツ	1点		
		H03	119番通報システム	操作タブレット+43インチモニター	3セット		※車椅子対応にタブレット1台
		GP05	119番通報の流れ	アルミ複合板下地I出力貼り	1点	W1400×H2400	
	4 消火体験	S05	コーナーサイン (4) 消火体験	アルミ複合板下地I出力貼り	1点	W900×H1800	
		V04	消火体験	体験コンテンツ	1点		
		H04	消火体験システム	PJ投影+センサーシステム	1式	180インチ	
		GP06	消火のしかた	アルミ複合板下地I出力貼り	1点	W1500×H2000	
		GP07	火災発生時の避難	アルミ複合板下地I出力貼り	1点	W3000×H1500	
	5 煙避難体験	S06	コーナーサイン (5) 煙避難体験	アルミ複合板下地I出力貼り	1点	W800×H1800	
		H05	煙避難体験	スモークマシン	1台		※運用方法要検討
		-	コーナースクリーンパネル (可動式)	木工造作パネル	1式		
		-	煙避難体験用避難誘導灯、非常灯	蓄光プレート	1式		
	6 応急手当体験	S07	コーナーサイン (6) 救命救急体験	アルミ複合板下地I出力貼り	1点	W1800×H600	
		-	レサシアン、体験用AED	既存機器	-		
		GP08	風水害から命を守る	アルミ複合板下地I出力貼り	1点	W1200×H1800	
		GP09	豪雪から命を守る	アルミ複合板下地I出力貼り	1点	W1800×H1800	
	7 防災クイズ	S08	コーナーサイン (7) 防災クイズ	映像対応	1点		
		V05	防災クイズ	体験コンテンツ	1点		
		H06	防災クイズシステム	3面PJ投影+55インチタッチモニター	1式		
3 視聴覚室 (2)							
	1 防災の心得	S09	コーナーサイン (8) 避難生活をのりきろう	アルミ複合板下地I出力貼り	1点	W900×H1800	
		GP10	あらかじめそなえよう	アルミ複合板下地I出力貼り	1点	W1200×H2400	
		GP11	避難生活	アルミ複合板下地I出力貼り	1点	W1800×H1800	
		GP12	避難所を快適に	アルミ複合板下地I出力貼り	1点	W1800×H1800	
		-	防災グッズ、避難所備品、備蓄品等実物展示	支給	-		

DRAWING 展示リスト	SCALE
PROJECT 防災教育センター機能強化の業務委託	DATE 2026.3
アール・エー・ビー開発株式会社 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男	DRAWING No. 01



DRAWING	平面PLAN	SCALE	A1 1:50 (A3 1:100)
PROJECT	防災教育センター機能強化の業務委託	DATE	2026.3
	アール・エー・ビー開発株式会社	DRAWING No.	02-1
	一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男		



記号	名称	備考	記号	名称	備考
●	電灯動力盤		●	led非常照明	埋込型 φ100 h74 ch2.5m r4.6m/ch2.8m r4.7m
▲	40型ledベースライト	埋込型自立壁 w1800×h2250×d230	●	led非常照明	埋込型 φ100 h74 ch2.8m r6.3m
▲	40型ledベースライト	直付型 w1250×150×h50	▽	調光センサー連続調光タイプ	埋込型 φ100 h104 国交省 ds1-a型
▲	40型ledベースライト	直付型 w1250×150×h50	▽	熱線センサー付自動スイッチ(フル2線)	埋込型 φ70 h46 親機 8a 広角検知
▲	40型ledベースライト	直付型 w1250×150×h50 センサー付	▽	熱線センサー付自動スイッチ(フル2線)	埋込型 φ70 h46 子機 増設機能付
▲	40型ledベースライト	直付型 w1225×80×h47 センサー付	▽	熱線センサー付自動スイッチ(フル2線)	埋込型 φ70 h46 子機 広角検知
▲	40型ledベースライト	埋込型 w1235×220×h120	▽	熱線センサー付自動スイッチ	埋込型 φ70 h59.2 親機 8a 広角検知
▲	40型ledベースライト	埋込型 w1235×150×h49	▽	熱線センサー付自動スイッチ	埋込型 φ70 h59.2 親機 換気扉連動
▲	40型ledベースライト	埋込型 w1235×150×h49 調光対応	▽	熱線センサー付自動スイッチ	埋込型 φ70 h59.2 子機
▲	スクエア型ledベースライト	埋込型 w350×350×h85	▽	熱線センサー付自動スイッチ	埋込型 φ70 h59.2 子機 換気扉連動
▲	スクエア型ledベースライト	埋込型 w450×450×h100			
○	ledダウンライト	埋込型 φ100 h59			
○	ledダウンライト	埋込型 φ150 h65			
○	ledダウンライト	埋込型 φ150 h85			
○	40型ledベースライト	埋込型 w1235×150×h49 調光対応			
○	ledダウンライト	埋込型 φ150 h91			
○	新軸型ledベースライト	直付型 w1345×198×h126 防雨防湿型			
○	ledダウンライト	埋込型 φ100 h167			
○	ledダウンライト	埋込型 φ100 h143			

記号	名称	備考
○	led非常照明	埋込型 φ100 h74 ch2.5m r4.6m/ch2.8m r4.7m
○	led非常照明	埋込型 φ100 h74 ch2.8m r6.3m
▽	調光センサー連続調光タイプ	埋込型 φ100 h104 国交省 ds1-a型
▽	熱線センサー付自動スイッチ(フル2線)	埋込型 φ70 h46 親機 8a 広角検知
▽	熱線センサー付自動スイッチ(フル2線)	埋込型 φ70 h46 子機 増設機能付
▽	熱線センサー付自動スイッチ(フル2線)	埋込型 φ70 h46 子機 広角検知
▽	熱線センサー付自動スイッチ	埋込型 φ70 h59.2 親機 8a 広角検知
▽	熱線センサー付自動スイッチ	埋込型 φ70 h59.2 親機 換気扉連動
▽	熱線センサー付自動スイッチ	埋込型 φ70 h59.2 子機
▽	熱線センサー付自動スイッチ	埋込型 φ70 h59.2 子機 換気扉連動

DRAWING 総合天伏図
 PROJECT 防災教育センター機能強化の業務委託
 アール・イー・ビー開発株式会社
 一級建築士 大臣登録 第253491号 山内 剛男

SCALE A1 1:50 (A3 1:100)
 DATE 2026.3
 DRAWING No. 02-2